

Joomla 1.5マイグレーション・クイックガイド

本資料は、Joomla 1.5 から Joomla 1.6/1.7 にマイグレーションする手順を備忘録としてまとめたものです。本資料に書かれている内容について、その動作を何ら保証するものではありませんのでご注意ください。

1. 作業環境:

```
debian 6 + php 5.3.3-7 + Mysql 5.1.49-3
```

にて実施

2. 作業準備:(追加インストール)

Debianでphp5-curl パッケージを追加インストールする。

```
# apt-get install php5-curl
```

3. apache再起動

上記でインストールしたモジュールを有効にするために、apacheを再起動する。

```
# /etc/init.d/apache2 restart
```

このとき、サーバ名がDNSで名前解決できない場合には、サーバ名の名前解決できるようにする。例えば、jupgrade を実行するサーバ名が「test.example.jp」であるなら、/etc/hosts に次のように行を追加する。

```
/etc/hosts
```

```
..
127.0.1.1 test test.example.jp
..
```

4. 作業手順::

■標準テンプレートへの変更:

独自のテンプレートを使用した状態でマイグレーションを実施すると、結果としてうまくjoomlaモジュールが表示されない可能性もあるので、使用テンプレートを取り敢えず標準的なものに変更しておきます。(テンプレートをそのままマイグレーションしても、マイグレーション自体は実施できます)

テンプレートの変更は、管理メニューから[エクステンション]→[テンプレート管理]から行います。

以下では、テンプレートとして「rhuk_milkyway」を選んだ場合の設定例です。

The screenshot shows the Joomla! administrator interface for version 1.5. The 'Template Management' section is active, displaying a table of installed templates. The 'rhuk_milkyway' template is selected, and the 'Default' button is highlighted.

数	テンプレート名	デフォルト	割当済	バージョン	日時	作者
1	beez			1.0.0	19 February 2007	Angie Radtke/Robert Deutz
2	hpid	★		1.01	01/06/2009	HP Internetdienstleistungen
3	JA_Purity			1.2.0	12/26/07	JoomlaArt.com
4	NLD_047_1.5			1.0	11/05/09	Kub
5	rhuk_milkyway			1.0.2	11/20/06	Andy Miller
6	siteground-j15-116			1.0.0	12/2009	Siteground
7	siteground-j15-126			1.0.0	01/2010	Siteground

■マイグレーションツール「jupgrade」の入手

<http://matware.com.ar/downloads/joomla/jupgrade.html> からjupgrade をダウンロード(今回はcom_jupgrade-1.1.1.zipを入手)

matware consulting Services Projects Forums Support

Downloads

jUpgrade

[com_jupgrade-1.1.1.zip](#) (323.23 kB) [Details](#) [Download](#)

[com_jupgrade-1.1.1.zip \[EUROPE MIRROR\]](#) [Details](#) [Download](#)

Display Num [▼](#)

Powered by [Phoca Download](#)

Login

Username

Password

Remember

[Login](#)

- [Forgot yo](#)
- [Forgot yo](#)
- [Create an](#)

- 入手したエクステンションを追加インストールする。

Joomla! 炉端へようこそ バージョン 1.5.x

サイト メニュー コンテンツ コンポーネント エクステンション ツール ヘルプ [プレビュー](#) [1](#) [1](#) [ログアウト](#)

エクステンション管理

[ヘルプ](#)

[インストール](#) | [コンポーネント](#) | [モジュール](#) | [プラグイン](#) | [ランゲージ](#) | [テンプレート](#)

パッケージファイルのアップロード

パッケージファイル: [参照...](#) [アップロードファイル & インストール](#)

ディレクトリからインストール

インストールディレクトリ: [インストール](#)

URLからインストール

URLインストール: [インストール](#)

Joomla! は GNU/GPLライセンスに準拠して配布されているフリーソフトウェアです。

- Jupgradeのインストールが正常に行えたら、メニューから[エクステンション]—[プラグイン管理]を選択し、「System - Mootools Upgrade」を有効(チェックマーク)にします。

Joomla! 炉端へようこそ バージョン 1.5.2

サイト メニュー コンテンツ コンポーネント エクステンション ツール ヘルプ プレビュー 1 1 ログアウト

プラグイン 管理

有効 無効 編集 ヘルプ

フィルタ: Go リセット

-タイプ選択 - -状態を選択 -

数	プラグイン名	有効	表示順	アクセスレベル	タイプ	ファイル	ID
21	検索-カテゴリ	✓	▼ 4	一般	search	categories	8
22	検索-セクション	✓	▲ 5	一般	search	sections	9
23	検索-ニュー スフィード	✓	▲ 6	一般	search	newsfeeds	10
24	LazyBackup 2	✓	▼ 0	一般	system	lazybackup	34
25	System - Mootools Upgrade	✗	▲ 0	一般	system	mtupgrade	35
26	System - JCE MediaBox	✗	▲ 0	一般	system	jcmediabox	37
27	Akeeba Backup Lazy Scheduling	✗	▲ 0	一般	system	aklazy	38
28	システム - SEF	✓	▲ 1	一般	system	sef	27
29	システム - Debug	✓	▲ 2	一般	system	debug	28
30	システム - Legacy	✗	▲ 3	一般	system	legacy	29

■続いてメニューから[コンポーネント]-[jupgrade]を選択します。jupgradeの画面から、[パラメータ]をクリックします。

炉端へようこそ バージョン 1.5.22

コンポーネント エクステンション ツール ヘルプ プレビュー 1 1 ログアウト

戻る パラメータ ヘルプ

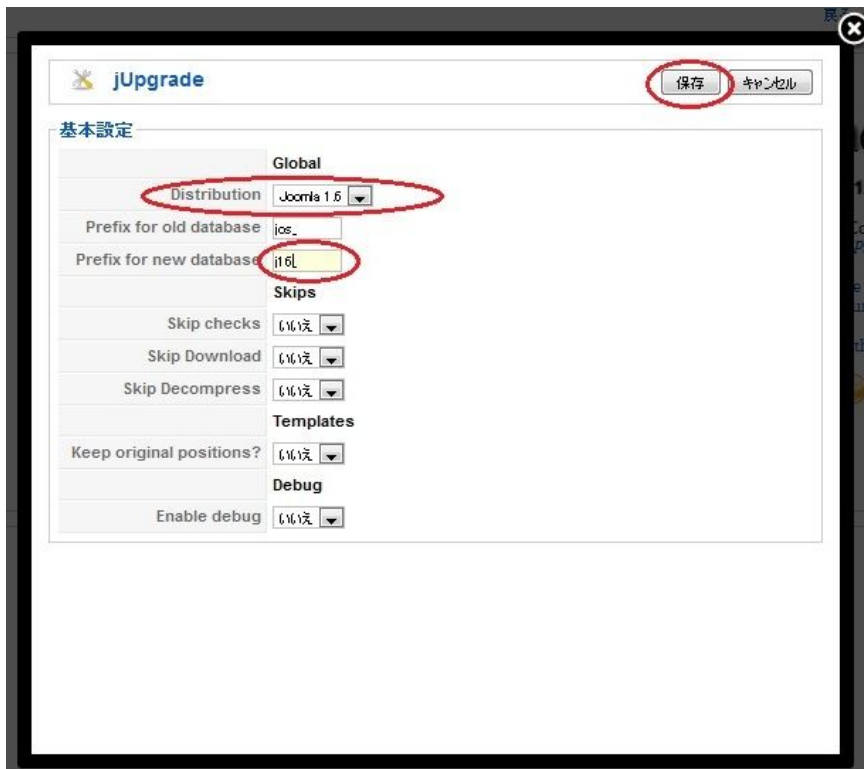
Mootools 1.2 not loaded. Please enable "System - Mootools Upgrade" plugin.

jUpgrade

バージョン 1.1.1

Developed by Matware © Copyleft 2006-2011

今回はVer1.5xをVer1.6xにマイグレーションするので、パラメータ画面で、「Distribution」を「Joomla 1.6」、「Prefix for new database」を「j16_」とします。あとはデフォルトのままとします。「Distribution」を「Joomla 1.7」にするならば、「Prefix for new database」を「j17_」とします。



■以上のセットが完了したら、アップグレードを実施する。



正常にアップグレード(マイグレーション)できると以下のような画面になる。ここから「サイト」をクリックすれば出来上がったサイトを、「管理者」をクリックすれば出来上がったサイトの管理画面を呼び出せます。



なお、マイグレーションされた結果、**installation** フォルダが作成されている。これが残っているとセキュリティ上問題があるので削除する。

```
# rm /var/www/joomla/jupgrade/installation
```

■ 確認:

マイグレーションが完了したら、早速出来上がったサイトを確認してみます。

URLで「http://Joomla-webサーバのアドレス/jupgrade/」と打ち込んでみましょう。正常であれば以下のようなイメージが表示される事と思います。

■ htaccess・アクセス権の調整

「.htaccess」ファイルが存在しないので、

```
# cd /var/www/joomla/jupgrade
# cp htaccess.txt .htaccess
```

として、「.htaccess」ファイルを作成します。また、マイグレーションされた結果のディレクトリ(/var/www/joomla/jupgrade以下)のアクセス権は、デフォルトの状態に戻されるようなので、必要に応じてアクセス権を適正にセットしてください。

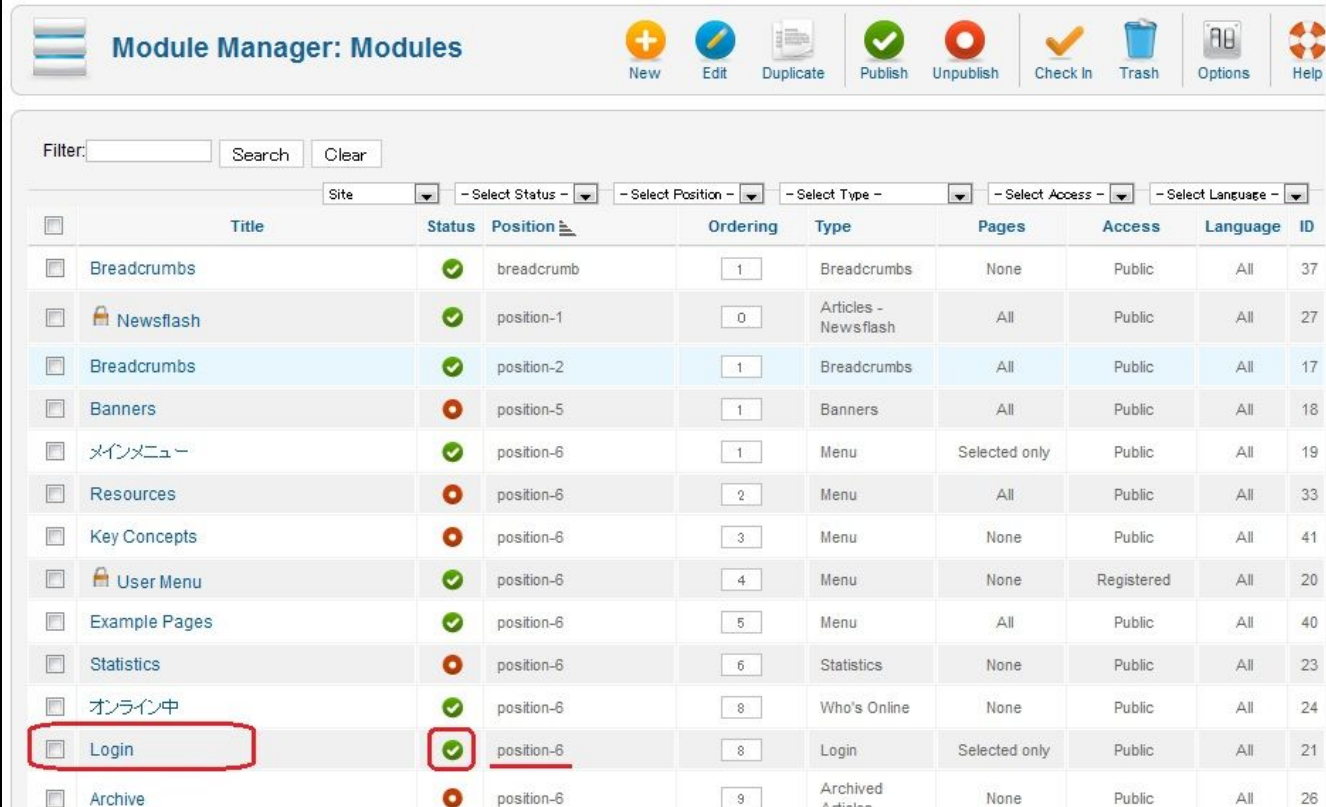
■モジュールのアクセス権

マイグレーションの結果表示されたコンテンツには、必要とするモジュールが表示されない場合があります。原因の一つはテンプレートにモジュールを表示させるためのポジションが存在しない場合と、もう一つはモジュールのアクセス権が適正にセットされていないケースが考えられます。

a) モジュールのアクセス権

まず、管理画面から[Extensions]—[Module Manager]を選択します。

コンテンツ中に表示させたいモジュールを確認します。例えばユーザログインの為に、“Login”モジュールをコンテンツ中に表示させるにはマネージャにある“Login”を確認し、その表示が有効になっていか最初に確認します。また、このときこのモジュールはコンテンツの「position-6」の位置に表示される事が判ります。



<input type="checkbox"/>	Title	Status	Position	Ordering	Type	Pages	Access	Language	ID
<input type="checkbox"/>	Breadcrumbs	✔	breadcrumb	1	Breadcrumbs	None	Public	All	37
<input type="checkbox"/>	Newsflash	✔	position-1	0	Articles - Newsflash	All	Public	All	27
<input type="checkbox"/>	Breadcrumbs	✔	position-2	1	Breadcrumbs	All	Public	All	17
<input type="checkbox"/>	Banners	⊘	position-5	1	Banners	All	Public	All	18
<input type="checkbox"/>	メインメニュー	✔	position-6	1	Menu	Selected only	Public	All	19
<input type="checkbox"/>	Resources	⊘	position-6	2	Menu	All	Public	All	33
<input type="checkbox"/>	Key Concepts	⊘	position-6	3	Menu	None	Public	All	41
<input type="checkbox"/>	User Menu	✔	position-6	4	Menu	None	Registered	All	20
<input type="checkbox"/>	Example Pages	✔	position-6	5	Menu	All	Public	All	40
<input type="checkbox"/>	Statistics	⊘	position-6	6	Statistics	None	Public	All	23
<input type="checkbox"/>	オンライン中	✔	position-6	8	Who's Online	None	Public	All	24
<input type="checkbox"/>	Login	✔	position-6	8	Login	Selected only	Public	All	21
<input type="checkbox"/>	Archive	⊘	position-6	9	Archived Articles	None	Public	All	26

表示の有効が確認できたら、“Login”をクリックします。すると、このモジュールの詳細情報が表示されます。この中で、「Menu Assignment」を確認します。ここには、このモジュールがどのメニュー状態で表示されるかが指定されており、モジュールによっては全く定義されていない状態になっています。

例えばすべてのメニュー状態でこの“Login”モジュールを表示させるなら、「Module Assignment」を“On all pages”にします。

または、特定のメニュー状態のときにのみ表示させるなら“Only on the pages selected”として、表示させたいメニューを指定します。

Module Manager: Module Login

Save Save & Close Save & New Save as Copy Close Help

Details

Title * Login

Show Title Show Hide

Position * position-6 Select position

Status Published

Access Public

Ordering 8. Login

Start Publishing 0000-00-00 00:00:00 23

Finish Publishing 0000-00-00 00:00:00 23

Language All

Note

ID 21 Login

Site

Module Description This module displays a username and password login form. It also displays a link to retrieve a forgotten password. If user registration is enabled (in User Manager > Options), another link will be shown to enable self-registration for users.

Menu Assignment

Module Assignment On all pages

Menu Selection: Toggle Selection

Example Pages Key Concepts Main Menu Resources Top Menu User Menu

- ホーム -- DNSサーバ

- Joomla! Overview --- DNSサーバ(bind)の構築

- What's New in 1.5.0 - Mailto: ...

Basic Options

Pre-text

Post-text

Login Redirection Page Default

Logout Redirection Page Default

Show Greeting No Yes

Show Name/Username Name

Encrypt Login Form No Yes

Advanced Options

b) テンプレートポジション

モジュールを適正な位置に表示させるには、テンプレートにおける適正なポジションを選択する必要があります。

「Login」モジュールの例では、このモジュールが「Position-6」の位置に表示されることが判っています。（この位置は上記の詳細設定で指定できます）

では、各種テンプレートにおけるPosition-6の位置はどこになるのでしょうか？

これは、テンプレート毎に違うので必ずここになるというものではありません。そのため実際は予期しない場所にモジュールが表示されたり、そもそもそのポジションがテンプレートに存在しないために表示自体ができない場合があります。

各テンプレートにおけるポジションを確認するには、Joomla 1.5までは「http://joomlaサイトサーバのアドレス/?tp=1」というようにURLの後ろに「?tp=1」を付加することでテンプレートのロケーション情報が表示されました。

しかし Joomla 1.6からは、「?tp=1」を付けてもデフォルトではロケーション情報を表示しないようになっています。これを表示させるには、管理メニューから[Extensions] - [Template Manager]を選びテンプレート管理画面の[Options]を選択します。

Administration

Site Users Menus Content Components Extensions Help

None Logged-in frontend 1 Logged-in backend No messages View Site Log

Template Manager: Styles

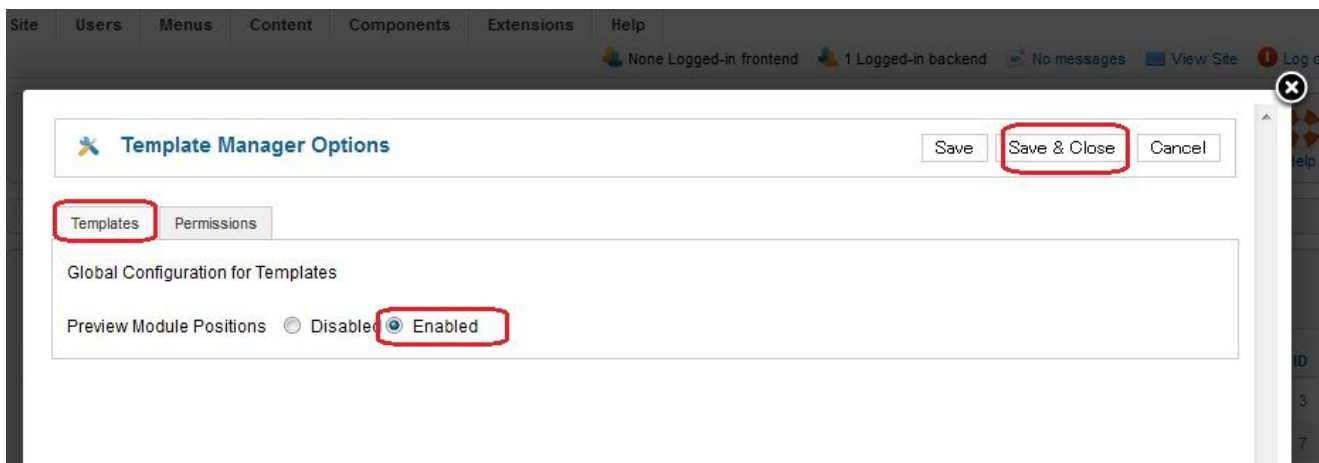
Make Default Edit Duplicate Delete Options Help

Styles Templates

Filter: Search Clear - Select Location - - Select Template -

	Style	Location	Template	Default	Assigned	ID
<input type="checkbox"/>	Atomic - Default	Site	atomic	☆		3

オプション画面の「Preview Module Position」を「Enabled」にします。



これで、“?tp=1”が有効になるので、利用するテンプレートのモジュールを配置できる場所が確認できます。なお、利用するテンプレートにモジュールを配置する場所が無い場合には、そのテンプレートの内容を編集してポジションを新たに定義するのは従来と同じです。本資料では、テンプレートの修正までは含んでいませんのでそれについては他の情報などを参照してください。

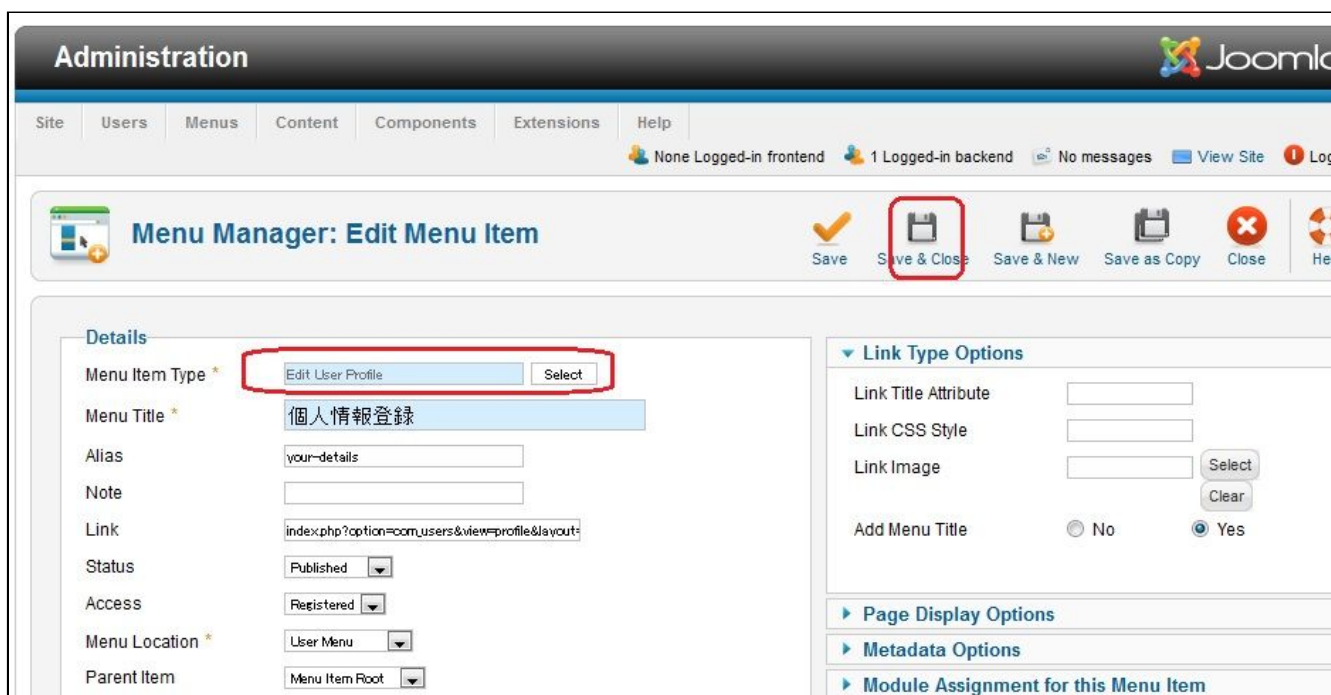
■ユーザメニューのMenu Item Type

マイグレーションの結果、メニューにおいてv1.6では新たに「Menu Item Type」という項目が必須項目として追加されるようですが、なぜかユーザメニューにはこれが適正にセットされない様子です。このため、そのままではユーザログインしても、記事の投稿などができない状態になってしまいます。

Menu Item Typeの設定は管理画面から[Menu]—[Menu Management]を選び、[User Menu]を選択して表示されるそれぞれのメニュー項目において、適正なタイプを設定してください。因みに、自分の場合は

- 個人情報登録: [Edit User Profile]
- 記事の投稿: [Create Article]
- Webリンクの作成: [Submit a Web Link]
- ログアウト: [login form]

を設定しました。



■カテゴリのアクセス権

記事の投稿の際に分類(カテゴリ)を指定すると思いますが、カテゴリについてもアクセス権が付くようになっており、マイグレーション直後では各カテゴリにおいて「Publisher(投稿者)」の権限にもアクセス権が与えられていないようです。

記事の入稿においてカテゴリが指定できない状態でしたので、カテゴリマネージャで各カテゴリに適切なアクセス権を与える必要がありました。アクセス権の設定は管理画面のメニューから、[Content]—[Category Manager]でカテゴリの一覧を表示させた後、選択に使用する各カテゴリアイテムをクリックします。

すると、カテゴリの詳細設定画面が表示されるので、その中の「Category Permissions」にある「Publisher(投稿者)」をクリックして表示されるアクションアイテムで、投稿者に適切なアクション権限を与えます。因みに、自分の場合には

- Create(作成): allowed(許可)
- Delete(削除): Inherited(変更なし: "Not Allowed"不許可)
- Edite(編集): allowed(許可)
- Edit State(状態の編集): allowed(許可)
- Edit Own(多分、オーナー情報の編集): allowed(許可)

なお、アクセス権はカテゴリ毎に設定できるようになっているので、必要なカテゴリすべてにこれらのアクセス権を設定する必要がある。

▼ Category Permissions

Manage the permission settings for the user groups below. See notes at the bottom.

- ▶ Public
- ▶ └ Manager
- ▶ └ └ Administrator
- ▶ └ └ Registered
- ▶ └ └ Author
- ▶ └ └ └ Editor
- ▼ └ └ └ └ **Publisher**

Action	Select New Setting	Calculated Setting ²
Create	Allowed	Not Allowed
Delete	Inherited	Not Allowed
Edit	Allowed	Not Allowed
Edit State	Allowed	Not Allowed
Edit Own	Allowed	Not Allowed

- ▶ └ Super Users

1. If you change the setting, it will apply to this and all child categories. Note that:

■ 正規サイト化

正常にサイトのマイグレーションが完了し、公開しても問題ないと判断できたらマイグレーションした結果を正規のサイトとして公開します。方法は簡単で、joomlaのインストールされているディレクトリ(ex. /var/www/joomla)に「jupgrade」というフォルダが作成されて、そこにアップグレードした内容が入っている。

このフォルダ以下をオリジナルの場所に移せば良いので、

```
# mv /var/www/joomla /var/www/joomla.ORG
# mv /var/www/joomla.ORG/jupgrade /var/www/joomla
```

とすれば良い。

5. 再マイグレーションの実施方法

サイトを正規化する前に、何らかの理由で再度マイグレーションを実施したい場合には、joomlaのルートディレクト(ex /var/www/joomla)に移り

1. # cd /var/www/joomla
2. 「tmp/joomla16.zip」と「tmp/size.tmp」を削除
3. jupgrade ディレクトリを削除(#rm -r jupgrade)
4. mysql を起動して、「j16_(Joomla 1.7なら「j17_」)で始まるすべてのテーブルを削除します。テーブルの削除方法などはMySQL 関連の資料を参照してください。

以上を実施した後に、再度、joomlaの管理画面にログインし直してから、jupgradeを実施します。